第11講・日本の特徴

日本（資源，エネルギー，環境問題）

ポイント1　資源とエネルギー

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 世界と日本の資源

鉱産資源：石炭，石油（原油），天然ガス，鉄鉱石などの地下資源

日本国内で石炭などを採掘

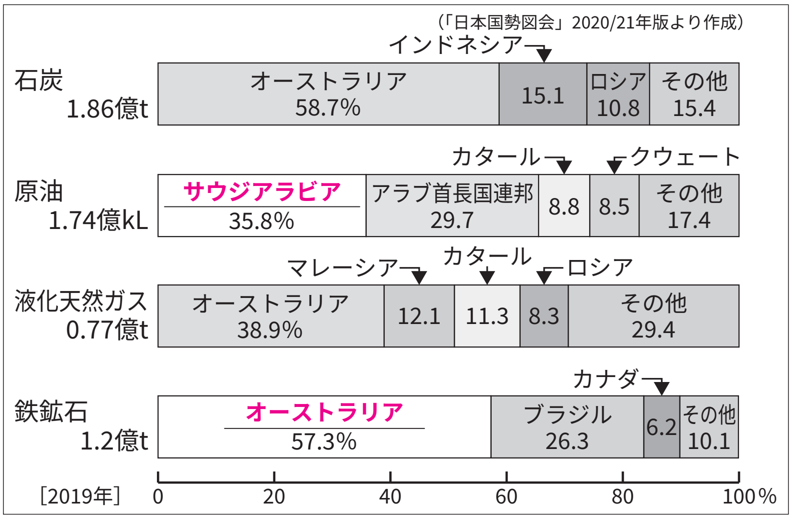
外国で大量に鉱産資源が生産されるようになる

↓

1960年前後，**エネルギー革命**の影響もあり

石炭の国内生産から**石油**輸入に頼るようになり炭鉱（たんこう）が衰退

資料1 日本のエネルギー輸入量



② 電力

主な発電方法

水力発電	山間部	建設したダムの水を利用
火力発電	都市近辺の臨海部	石油，天然ガス，石炭などを利用
原子力発電	地方の臨海部	ウランを利用

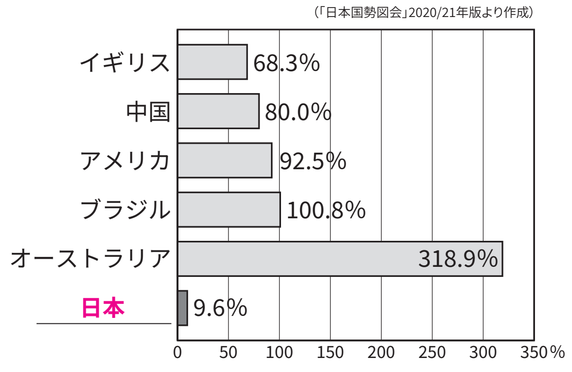
1970年代の 石油危機 以降は原子力発電比率が上昇（じょうしょう）

2011年の 東日本大震災（しんさい） により原子力発電比率は低下

課題：日本の エネルギー自給率 は非常に低い

└ 自国で使うエネルギーのうち自国で生産可能な割合

資料2 各国のエネルギー自給率



ポイント2 環境（かんきょう）問題

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 環境の変化

地球温暖化 ：地球規模で気温が上昇する現象

原因：二酸化炭素（CO_2）などの温室効果ガス排出量の増加

↓

対策： 再生可能エネルギー の利用

└ 繰り返し利用できるエネルギー

太陽光，地熱，風力，波力，潮力や バイオマス （バイオ燃料）など

資料3 太陽光発電システム

② 環境汚染（おせん）

原因：鉱産資源の消費，発電，工場や家庭から排出されるごみ

↓

対策：＿**省エネルギー**＿の推進

レアメタルなど資源の再利用（＿**リサイクル**＿）

環境保全と経済発展を両立させた＿**持続可能な社会**＿の実現への取り組み

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 石油（原油）・石炭・天然ガス・鉄鉱石など，地下から得られる資源を何というか。　**鉱産資源**

(2) 山地に建設したダムの水を利用する発電方法は何か。　**水力発電**

(3) 石油・石炭・天然ガスなどを利用する発電方法は何か。　**火力発電**

(4) 原子力発電の割合を高めるきっかけとなった1970年代のできごとは何か。　**石油危機**

(5) 自国で使うエネルギーのうち自国で生産可能な割合を何というか。　**エネルギー自給率**

(6) 繰り返し利用できるエネルギーを何というか。　**再生可能エネルギー**

(7) 日本の主な使用エネルギーが国内で生産する石炭から輸入石油にシフトすることになった1960年前後の変化を何というか。　**エネルギー革命**

(8) 日本が最も多く原油を輸入している国はどこか。　**サウジアラビア**

(9) 日本が最も多く鉄鉱石を輸入している国はどこか。　**オーストラリア**